

## 役員等利益相反申告書 ( 年就任時から1年ごとに過去3年間申告)

日本臨床救急医学会 代表理事 殿

申告日 (西暦) 年 月 日

本学会が行う事業に関連する企業や営利を目的とした団体に関わるものを以下の通り申告します。

申告者氏名: \_\_\_\_\_

所属 (機関・教室/診療科)・職名: \_\_\_\_\_

本学会での役職・委員会など名称 (該当する箇所にチェックしてください。複数可)

理事 監事 学術集会会長 委員会委員長 小委員会・WG 委員長

特定委員会委員 (編集、総務、会則検討、評議員選出、広報、丸茂基金日本臨床救急医学会運営、研究倫理、利益相反管理)

### A. 自己申告者自身の申告事項

#### 1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 ( 有 ・ 無)

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	役職 (役員・顧問など)	金額区分	年
1				
2				
3				

金額区分: ①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

#### 2. 株の保有と、その株式から得られる利益 (1年間の本株式による利益) ( 有 ・ 無)

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	企業名	持ち株数	申告時の株値 (一株あたり)	金額区分	年
1					
2					

金額区分: ①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

#### 3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 ( 有 ・ 無)

(1つの特許権使用料が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	特許名	金額区分	年
1				
2				

金額区分: ①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

#### 4. 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席 (発表、助言など) に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などの報酬 ( 有 ・ 無)

(1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分	年
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

金額区分: ①50万円以上 ②100万円以上 ③200万円以上

5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 (□有 ・ □無)

(1つの企業・団体からの原稿料が年間合計50万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分	年
1			
2			

金額区分：①50万円以上 ②100万円以上 ③200万円以上

6. 企業や営利を目的とした団体が契約に基づいて提供する研究費 (□有 ・ □無)

(1つの企業・団体から、医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	研究費区分	金額区分	年
1				
2				
3				

研究費区分：①産学共同研究 ②受託研究 ③治験 ④その他

金額区分：①100万円以上 ②1000万円以上 ③2000万円以上

7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学(奨励)寄附金 (□有 ・ □無)

(1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分	年
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

8. 企業などが提供する寄附講座 (□有 ・ □無)

(企業などからの寄附講座に所属している場合に記載)

	企業・団体名	寄附講座の名称	設置期間	年
1				
2				

\* 実質的に用途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載

9. その他の報酬(研究とは直接に関係しない旅行、贈答品など) (□有 ・ □無)

(1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載)

	企業・団体名	報酬内容	金額区分	年
1				
2				
3				

金額区分：①5万円以上 ②20万円以上

## B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産的利益を共有する者の申告事項

該当する方の口にしをお付けください。

すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

申告事項有り：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」にしを付けてください。

### 1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 ( 有 ・ 無 )

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係		
	企業・団体名		役職(役員・顧問など)	金額区分	年
1					
2					
3					

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

### 2. 株の保有と、その株式から得られる利益(1年間の本株式による利益) ( 有 ・ 無 )

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係		
	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分	年
1					
2					

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

### 3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 ( 有 ・ 無 )

(1つの特許権使用料が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係		
	企業・団体名		特許名	金額区分	年
1					
2					

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本臨床救急医学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

(本申告書は、任期満了、あるいは委員の委嘱撤回の日から3年間保管されます)

